

建設省の「新世代木造住宅の開発」事業がスタートしました。これは軸組工法木造住宅の現場での省力化とコストダウンを図り、性能を向上させた住宅の供給を目的としています。〈クレテック〉は、現場での加工作業の効率を図るための組立て工法用金具です。耐蝕性をより向上させるために黒色ストロンジック処理方法を採用。塩水噴霧試験において2,000時間以上も赤錆の発生を防止。〈クレテック〉は、これからの住宅の長期耐久化に対応する方式です。しかも軸組木造建築物に比べて、地震などの外圧強度が高いのも大きな特長。いずれも、部材に合わせて金具が用意されていることも安心材料です。

●本接合金具で軸組木造建築躯体を完全に緊結。  
軸組工法の継手部分をすべて金具に。用途に合わせた〈クレテック〉でがっちり固定できます。

●軸組木造の完全部材化に成功。  
仕口の加工やボルトの穴位置の方向性がないため、柱や梁が左右どちらを向いても施工可能だからです。

●熟練技術を要するスミ付け・仕口加工が不要。  
〈クレテック〉は、単純な加工ですむため、非熟練者でも簡単に作業ができます。

●間取り、屋根、外観なども自由に設計施工が。  
軸組工法がベースとなっているため設計は自由。もちろん増改築も可能です。

●大工さんは建て方に専念できます。  
金具を使って組立てる感覚ですから工期短縮にも。現状の人員で、より多くの棟数をこなすこともできます。



スリット加工機  
SW-130K



## 〈クレテック〉使用軸組図

